

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月14日

協議会名: 奈井江町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
奈井江町	市街地循環線【みなクル～奈井江駅～みなクル】	広報紙での周知や窓口でのチラシ配布を行い利用者拡大を図った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 広報等によって住民の認知が広がったものの新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、輸送人員は目標1,500人/年に対し、1,496人/年で目標達成率は99.7%であった。	「新型コロナウイルス」感染拡大の影響が大きいものの、年々住民への定着が進んでおり、大きな利用減にはなっておらず、昨年は運行経路の拡張を行うなど利用者ニーズに応えた。今後も継続し利用者の増加に努める。
	向ヶ丘線【みなクル～奈井江駅～ないえ温泉】 【車両減価償却費等国庫補助】	広報紙での周知や窓口でのチラシ配布を行い利用者拡大を図った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 「ないえ温泉」の休止及び「新型コロナウイルス」感染拡大に伴い、利用者が減少し、輸送人員は、目標4,100人/年に対し、4,598人/年で目標達成率は112.1%であった。 市街地循環線と同規模車両になることから、故障や車検時の代替車両として相互に対応で来ている。	「ないえ温泉」の休止及び「新型コロナウイルス」感染拡大の影響が大きい。これらの影響が長引くようであれば、減便等を検討し利用率の改善に努める必要がある。
北星三星交通株式会社	乗りあいタクシー【全エリア】	広報紙での周知や窓口でのチラシ配布を行い利用者拡大を図った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 「新型コロナウイルス」感染拡大の影響が大きく、輸送人員は目標600人/年に対し、624人/年で目標達成率は104.0%であった。	「新型コロナウイルス」感染拡大の影響が大きく、これらの動向が明確にならない限り従前の利用者数に戻すことは難しい。利用者が固定化されてきていることから、新たな利用者の掘り起こしなど、利用者増加に努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 4年 1月 14日

協議会名:	奈井江町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>①日常生活に必要な公共交通の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急速に高齢化が進む中、生活交通の確保を目的として、自家用車からいつでも公共交通に転換できるよう、公共交通体系の確立が求められている。 <p>②公共交通空白地域の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道12号、道道奈井江浦臼線及び町営バス向ヶ丘線沿線以外は、公共交通空白地域となっている。特に市街地でも南町の一部は公共交通空白地域となっており、解消が必要である。 <p>③地域に即した公共交通と高齢化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地域(本町、北町、東町、南町)に人口の8割が居住し、この地域の人口密度は高く、農村地域の人口密度は低い状況である。また、農村地域の巖島、宮村、白山及び向ヶ丘栄町の高齢化率は5割を超え、大和、茶志内及び住友新町の高齢化率は4割以上と高い状況である。 ・このことを踏まえ、人口密度の高い市街地域では、買物や通院、町外への移動のためにJRや中央バスの接続に配慮した、循環バスの運行により生活交通の確保を図ることが必要である。合わせて、通院や買物などに関しては、荷物や停留所までの歩行、冬期間のことを考慮し、施設入り口に停留所を設けるなど、高齢者に配慮した対応が必要である。 ・農村地域では、買物や通院、町外への移動に対し、自宅前送迎の乗りあいタクシーの運行により、高齢者に配慮した対応と合わせ、生活交通の確保を図ることが必要である。